

## 第3章 計画の基本的な考え方

# 1 基本理念

- 第5次津島市総合計画では、将来像を「～未来につなぐ～住んでみたい 住んでよかったまち 津島」としています。これは、市と関わりをもって暮らす多様な人々をつなぎ、一人ひとりが主人公になれるまちづくりを進めることで、まちに関わるすべての人の思いが詰まった、共感できるまちをめざすものです。
- 第2期津島市地域福祉計画えがおのまち計画では、市民、福祉関係者、団体、行政などが支え合い暮らすことのできる「地域共生社会」の考え方を踏まえ、「みんなでつくろう 笑顔あふれる共生のまち つしま」という基本理念を掲げられました。
- この基本理念は、総合計画と同じ方向をめざすものであり、地域福祉の支え合いの充実を図り、“住んでよかった”とみんなが笑顔になるまちを引き続きめざしていく必要があります。
- そのため、「みんなでつくろう 笑顔あふれる共生のまち つしま」を本計画においても継承し、この基本理念に基づいて、各種施策を展開していきます。

### 基本理念

みんなでつくろう 笑顔あふれる  
共生のまち つしま

## 第3章 計画の基本的な考え方

# 2 基本方針

### 基本方針Ⅰ 地域での理解

---

- 地域には様々な人が暮らしていますが、その人の立場に立ち、少しでも自分に何ができるかと関心を持ったとき、それは地域福祉の第一歩となります。
- 市では、地域福祉の理解につながるように地域の現状や地域活動の情報提供などを行い、市民が知るきっかけをできるだけ増やし、理解を深め、地域で支え合う意識の共有をめざしていきます。

### 基本方針Ⅱ 地域での共生

---

- 地域には様々な福祉ニーズがあり、複雑化・複合化してきています。問題を抱えて困っている人に対して、周りの住民や地域の支援者、市や市社会福祉協議会等が連携して寄り添い、支えることが課題となっています。
- 市では、関係機関や団体との連携を強化するとともに、地域のコミュニティ推進協議会、地区社会福祉協議会等の活動主体の支援、ボランティア育成等を進めて、支援の必要な人を包み込む共生のまちをめざしていきます。

### 基本方針Ⅲ 地域での安心

---

- 住み慣れた地域で安心して暮らすことはすべての人の願いです。市民アンケート調査でも特に防災・防犯等の活動による安心・安全なまちづくりが求められていることがわかります。
- 市では防災・防犯のみならず、必要な時に必要な相談ができる環境づくりや日常生活を支える介護保険サービス、障がい福祉サービス、子育て支援事業等様々な福祉サービスの充実により、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境をめざしていきます。

## 第3章 計画の基本的な考え方

# 3 施策体系

- 本計画は、基本理念を実現するための3つの基本方針に対し、11の基本目標を設定しました。また、基本方針ごとに特に重要な基本目標を1つ設定し、【重点】と表しました。

基本理念	基本方針	基本目標
みんなでつくろう 笑顔あふれる共生のまち つしま	<b>I 地域での理解</b> ～地域福祉の理解を深め、地域で 支え合う意識を共有しよう～	1. 地域で支え合う意識の啓発【重点】
		2. 福祉教育の推進
		3. 情報提供の充実
	<b>II 地域での共生</b> ～支援の必要な人を包み込む共生 のまちをめざそう～	1. 支え合いのまちづくりの推進【重点】
		2. 地域における包括的支援の充実
		3. 権利擁護の推進
		4. 地域福祉の担い手づくりの推進
		5. 生きがいづくりと交流の推進
	<b>III 地域での安心</b> ～誰もが住み慣れた地域で安心して 暮らせる環境をつくろう～	1. 相談体制の充実【重点】
		2. 保健・福祉サービスの充実
		3. 防災・防犯の推進